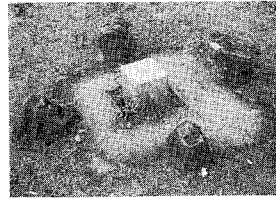
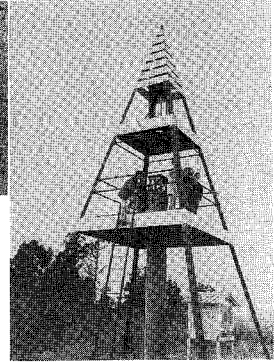


◇ 4月の天文暦 ◇

日時	記	事
3 21	朔	
5 7	清明	(太陽黄経 15°)
6 13	月	最近
10 4	金星	外合
13	上弦	
23	水星	西方最大離角
11 11	天王星	衝
17 23	望	
20 15	穀雨	(太陽黄経 30°)
22 11	月	最遠
26 3	下弦	



鹿野山一等三角点標石と観測塔



☆ 原点めぐり ☆

鹿野山方位原点

一等三角点鹿野山(かのうざん)は国土地理院鹿野山測地観測所構内にある。日本経緯度原点からの方位角決定に用いられた三角点である。ここは測地観測所に見えるお客様に必ず御覧に入れる事にしてある。当方の真意は、測地基準点の標石になじんで載き、蹴飛ばし・打欠きなどの邪慳を御勘弁願う様PRする点にあるが、時としてどきりとする感想を洩らす方がある。「三角点の大切なことは良く分りました。それにしても一等三角点毎に、この様な庁舎を建て番人をおくとは何とも大変な御苦勞ですね」。これは観測所庁舎があまり古びて見えるための時間経過の取違えであろう。「三角点というのは地面の動きを調べるのに役立つとの事ですが、すると我々はプリンかコンニャクのような物の上に住んでいると考えるべきなのですね」。これは誇張感覚派のキビ

シー御託直である。さて本誌1月号原点めぐりにも述べられている様に、ベッセル楕円体を原点に固定するのに用いた経緯度が天文経緯度である為方位角も当然天文方位角でなくてはならない。方位角決定の観測は1883, 1884(明治16, 17年)に行なわれ、恒星の最大離角附近152対回から方位標の方位角を決めついで方位標と鹿野山との夾角を48対回観測して鹿野山の方位角を定めたと記されている。この時の値は $156^{\circ}25'30''156$ であった。又、同時期に、筑波山の方位角も定められた。関東大震災によって、原点の子午環がこわれ具体的な経緯度原点位置がなくなったばかりでなく、鹿野山の水平位置も変化した。このため震災復旧測量が行なわれたが、この際、筑波山を含む7つの周辺一等三角点を不動として鹿野山の位置を決定した。この測量で原点の経緯度は不動としたから、同じく不動とした筑波山の原点からの方位角は不変であるが、鹿野山のそれは秒位で $30''156$ から $28''442$ に変わっておりこれが測量法等に記載されている現行値である。ラプラス点による多点方位規制が行なわれている現在、原方位もやはり歴史的モニュメントの意味合いが強いのと言って良いであろう。

(国土地理院 北郷俊郎)

